

## 報告

## 日本天文学会第3回ジュニアセッション報告

矢治健太郎（かわべ天文公園）他  
ジュニアセッション世話人会

2001年10月4日～6日、姫路市内の「イーグレひめじ」で開催された、日本天文学会秋季年会において「第3回ジュニアセッション」が行われました。天文教育普及研究会は前回に引き続き、このジュニアセッションに共催として参加し、特に近畿支部のメンバーが座長を務めたり、当日の諸々の手伝いを行いました。また、日本惑星協会、兵庫県教育委員会、姫路市教育委員会に後援に加わっていただきました。

ジュニアセッションの目的は、中学生・高校生がプロの研究者の前で発表する機会を提供することにより、天文学についての学習・研究活動をより活性化させるきっかけとしてもらうことです。また、プロの天文学者と直接ふれあうことで、生の天文学を知ってもらい、天文学、そして理科や科学の楽しさを感じてもらうことも重要な目的となっています。

これまでは春季年会の特別セッションとし

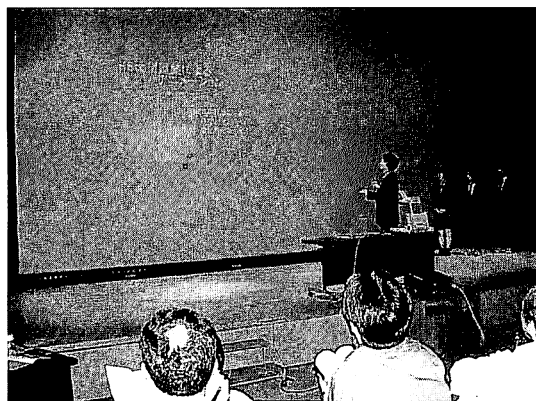


図1. 発表風景の写真

て行われてきましたが、過去2回とも関東周辺で行われました。今年の秋季年会は近畿で行われることもあり、近畿周辺の中学生・高校生に発表の機会を与える意味で、第3回ジュニアセッションを秋季年会中に行うことになりました。中間考査を控えている時期でもあり、どれくらいの発表数があるか心配しましたが、結局、7つの発表がありました。そのうち6つが口頭発表として、ジュニアセッション中に発表されました。会場には150名以上の参加者がありました。

今回のセッションは、私、矢治と、滋賀大学教育学部の大山真満さんの二人が座長を、時計係は京都市立塔南高校の有本淳一さんに務めてもらいました。結果的に、和歌山・滋賀・京都とグローバルな(?)陣容で進行することになりました。当初はセッションを前後半2つに分けて分担して進めようと思っていたのですが、周囲からの勧めで、二人同時に進行して、お互い気のついたことをコメントするという形を取りました。できれば、いわゆる「かけあい」という形で進めたかったのですが、事前打合せも不十分で、ちょっと形式的に進めた部分もあるかなと感じております。

発表された内容は総じてレベルが高かったと思います。鴨方高校の「太陽の5分振動」の発表では、座長二人が太陽の専門家でありながら、「何を質問しよう」とあたふたしたのですが、座長の大山さんはポスター会場で事前に発表者に熱心に質問をして準備をされました。また、流星塵や惑星間塵の研究では、流星塵の大きさや成分分析まで突っ込んだ内容

で驚きました。自分たちが高校の部活でやっていた（もう20年も前ですが）内容から非常に進歩していることを実感しました。また「北極星に関する一般向けホームページ製作」や「こん天儀の復元」などの発表も興味深く思いました。このように、民俗学的・天文学史的アプローチの研究発表もどんどん出てきていいと思います。

座長をしていて感じたことは、質問者が非常に限られていたと思います。特に、教育者に偏っていて、研究者からの質問が少ないと思いました。これは、「プロの天文学者と直接ふれあう」という目的が十分に達せられていないのではないかと考えます。また、世話人の中からも、「口頭セッションの質疑のところで、内容に関する質問があまり出なかった」という意見がありました。その点で、最後の方で、国立天文台の長谷川哲夫さんが、「小惑星監視プロジェクト」の発表について「データの取り扱い方」に関するコメントを行ったことは、一端ではありますが、「天文学の研究がどんなところから始まるのか」に触れることができたのではないかと思います。

今回のジュニアセッションでは、インターネット中継を初めて行いました。この中継を行うにあたっては、日本通信機株式会社、日本大学総合学術情報センター、ライブ！レオニズ実行委員会に中継協力をしていただきました。土曜の午後の放課後という時間帯でもあり、同じ年代の中高生たちが発表している様子をインターネット越しに見て、他の中高生の活動の励みになればと思います。

最後に、日本天文学会理事長の田原博人氏より「質問されたことに対して、質問内容を理解できる能力があることは非常にすばらしい。また、堂々とした態度で発表ができてい」とのコメントがありました。

ジュニアセッションのあとでは、有本さんが音頭をとって、参加した中高生同士で交流するひとときを持ち、お互いの自己紹介をし

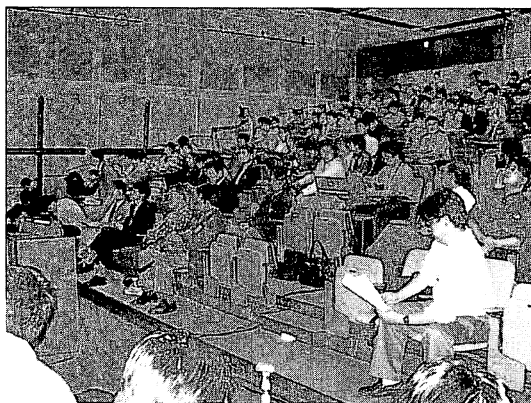


図2. 会場の様子

ました。今後も継続して交流を行っていくそうです。

今回は来年3月の茨城大学での春季年会で、第4回ジュニアセッションが開催される予定になっています。次回も多くの中高生が、授業やクラブ活動での研究・調査の成果を発表してくれることを期待します。

#### <プログラム>

- 01: 北極星に関する一般向けホームページの製作<口頭・ポスター>  
谷村香奈(高3)、近江真貴子(高3)、美馬ゆき子(高3)【奈良県立登美ヶ丘高等学校】
- 02: 太陽面の5分振動の検出に挑む！<口頭・ポスター>  
大本真理子(高3)、藤井章仁(高3)、秋田望(高3)、石井優菜(高3)、大橋千恵(高3)、小野隆宏(高3)、山田泰三(高3)、金川裕美(高2)、光井由紀恵(高2)【岡山県立鴨方高等学校】
- 03: 国際小惑星監視プロジェクト・金光中学校での取組<口頭・ポスター>  
大橋賢太郎(中3)、河原芳貴(中3)、濱田啓介(中3)【岡山県浅口郡金光町立金光中学校】
- 04: 月食観測による月までの距離測定<口頭・ポスター>

千野貴彦（高専2）、尾澤仁志（高専2）、青木良枝（高専2）、飯島由紀子（高専2）、小林彩（高専2）、山田真澄（高専3）、徳永麻伊（高専3）、有賀裕子（高専3）、轟直希（高専3）、松元晶（高専3）【長野工業高等専門学校】

05：流星群の出現数と流星塵の数の関連性2  
＜口頭・ポスター＞

富士田真市（中3）【洛星中学校】、中村早希（高1）、浮名美由紀（高1）【聖母学院高等学校】、場田隼也（高3）【洛星高等学校】

06：惑星間塵の採集＜口頭・ポスター＞

中埜夕希（高1）【兵庫県立有馬高等学校】

07：こん天儀の復元＜ポスター＞

【京都府立桃山高等学校地学部】

プラネタリウム番組企画・制作・装填  
博物館展示物・ホームページ制作  
LAN・インターネットサーバーの構築  
天体写真の著作権販売

その他、みなさまのニーズにお答えします

大阪本社  
〒550-0012  
大阪市西区立売堀1-7-3井本ビル3F  
Tel:06-6586-6012  
Fax:06-6573-0109

東京オフィス  
〒101-0041  
東京都千代田区神田須田町1-2カルフール神田3F  
Tel:03-9256-1776  
Fax:03-9256-2406

ホームページURL  
<http://www.fatove.co.jp/>



Please Call Now!

株式会社イーハトーヴ